

第2章

一・二・三・四類感染症及び全数把握対象の五類感染症報告状況

1. 一類感染症

一類感染症の報告はありませんでした。

2. 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)

報告はありませんでした。

結核 (Tuberculosis)

結核は、2007年4月1日から感染症法の二類対象疾患となり、ここでのデータは、横浜市健康福祉局健康安全課で作成した平成27(2015)年結核発生動向調査年報から引用しています。

年間患者報告数は565人、罹患率は15.2で、昨年より若干減少しました(対前年比0.4減)。この数値は、全国の罹患率 14.4(対前年比1.0減)を上回っています。

男女別では、男性が362人(64.1%)、女性が203人(35.9%)で、男性の報告数は女性のほぼ倍でした。

また、年齢層別では男女とも高齢者の報告が多く、65歳以上の患者は男性が205人(36.3%)、女性が113人(20.0%)で合計318人となり、全体の56.3%を占めています。

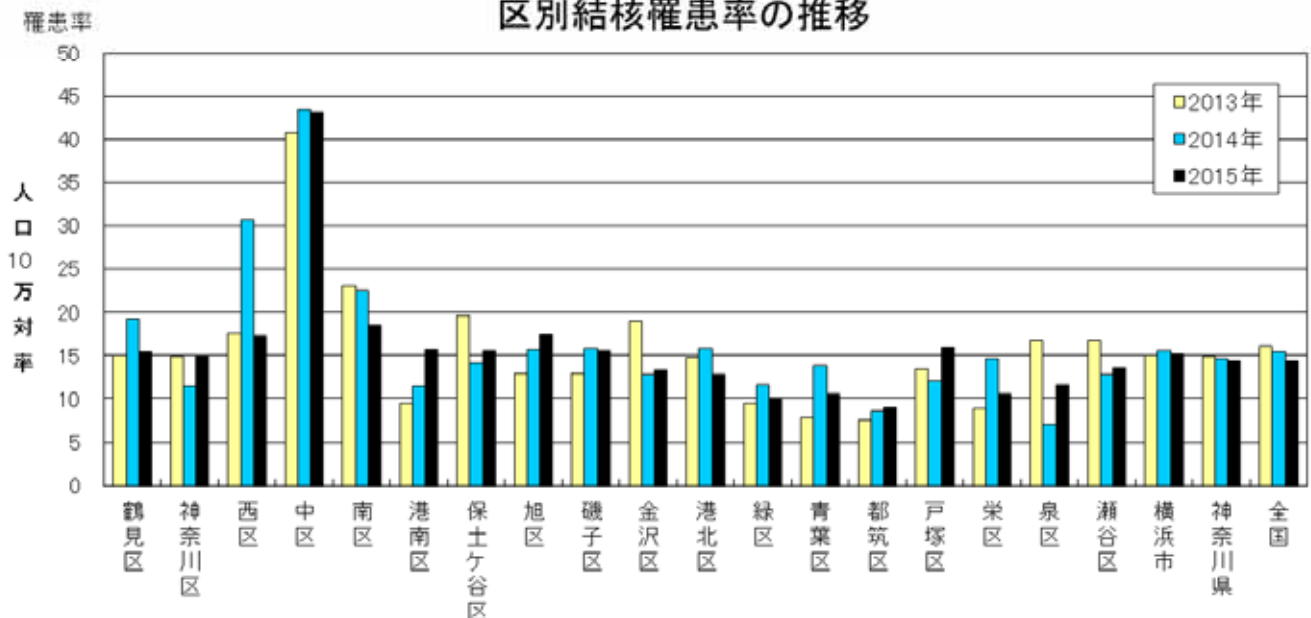
行政区別の罹患率をみると、中区が43.1と最も多く、次いで南区が18.5、旭区が17.4、西区が17.2の順でした。

人口10万対

横浜市結核罹患率の推移



区別結核罹患率の推移



3. 三類感染症

コレラ (Cholera)

60歳代男性1例の報告がありました。菌型はO1小川型で、推定感染地域はフィリピンでした。

細菌性赤痢 (Shigellosis)

6例の報告があり、患者(症状あり)が5例、無症状病原体保有者が1例でした。男女別では男性が5例、女性が1例で、菌型は全例 *Shigella sonnei* でした。年齢層別では20歳代が4例、30歳代・50歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が2例、インドが2例、フィリピンおよびベトナムが各1例でした。

腸チフス (Typhoid fever)

20歳代男性1例の報告がありました。推定感染地域はインドネシアでした。

パラチフス (Paratyphoid fever)

8例の報告があり、男性6例、女性2例でした。年齢層別では30歳代が3例、10歳未満・10歳代・20歳代・40歳代および50歳代が各1例でした。推定感染地域はミャンマーが5例、インドが2例、インドネシアまたはフィリピンが1例でした。

腸管出血性大腸菌感染症 (Enterohemorrhagic *Escherichia coli* infection)

122例の報告があり、患者(症状あり)が78例(63.9%)、無症状病原体保有者が44例(36.1%)でした。

血清型はO157が最も多く101例(82.8%)で、次いでO26が8例(6.6%)、以下O145が3例(2.5%)、O103とO121が各2例(1.6%)、O18・O55・O146およびO157とO145の混合感染が各1例(0.8%)でした。

男女別では、男性が53例(43.4%)、女性が69例(56.6%)でした。

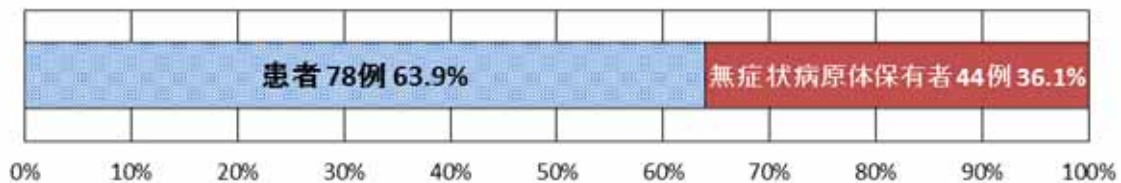
月別では、9月が48例(39.3%)、7月が24例(19.7%)、8月が13例(10.7%)、6月が12例(9.8%)で、この4か月で全体の79.5%を占めています。

年齢層別では、10歳未満が41例(33.6%)と最も多く、次いで30歳代が16例(13.1%)の順となっています。

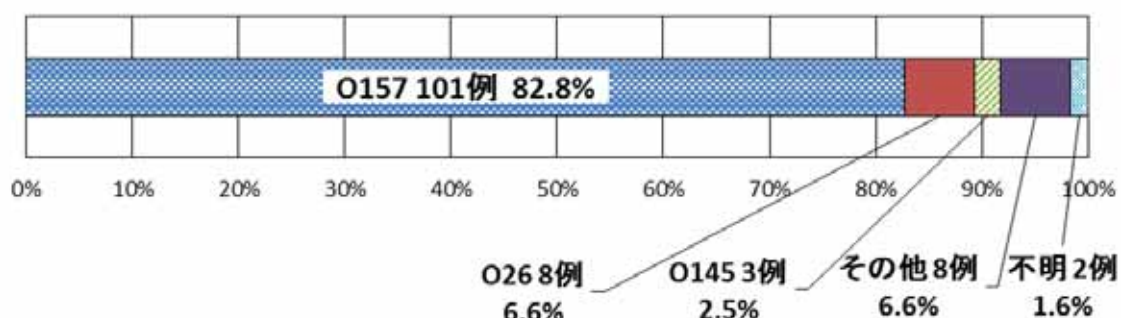
推定感染地域は、日本国内が99例(81.1%)、インドネシアが2例(1.6%)、韓国およびニュージーランドが各1例(0.8%)、残りの20例(16.4%)は不明でした(重複あり)。また、国内発生98例(海外での感染も疑われる1例を除く)のうち、神奈川県内は64例(65.3%)でした。

男性1例、女性2例が溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症しており、血清型はいずれもO157でした。年齢層は10歳未満・30歳代および70歳代が各1例でした。

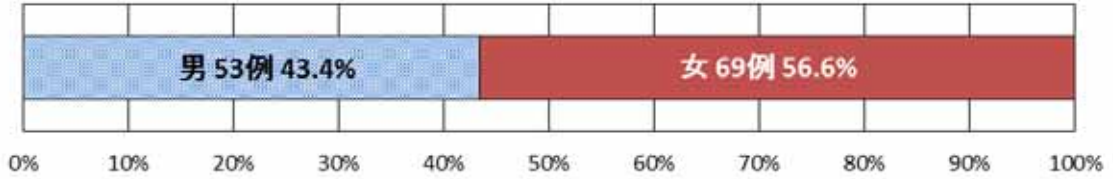
症状別報告割合(2015年)



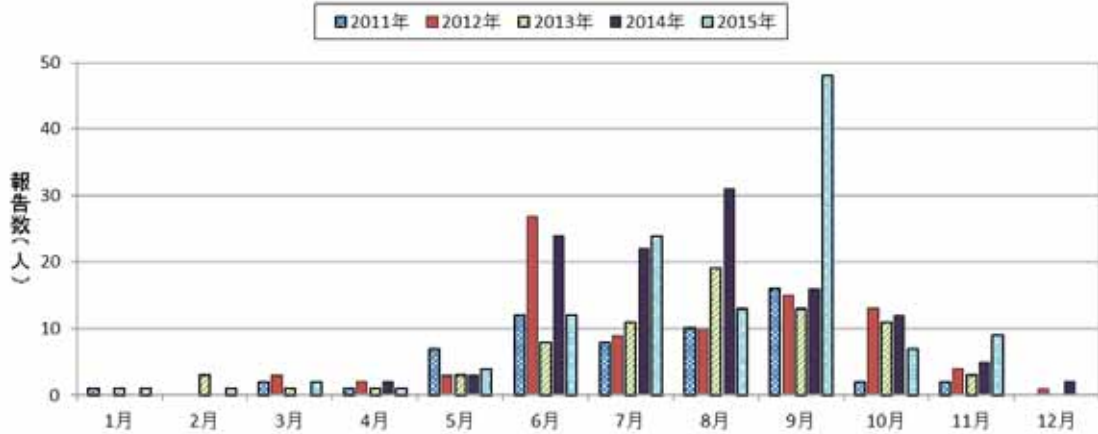
血清型別報告割合(2015年)



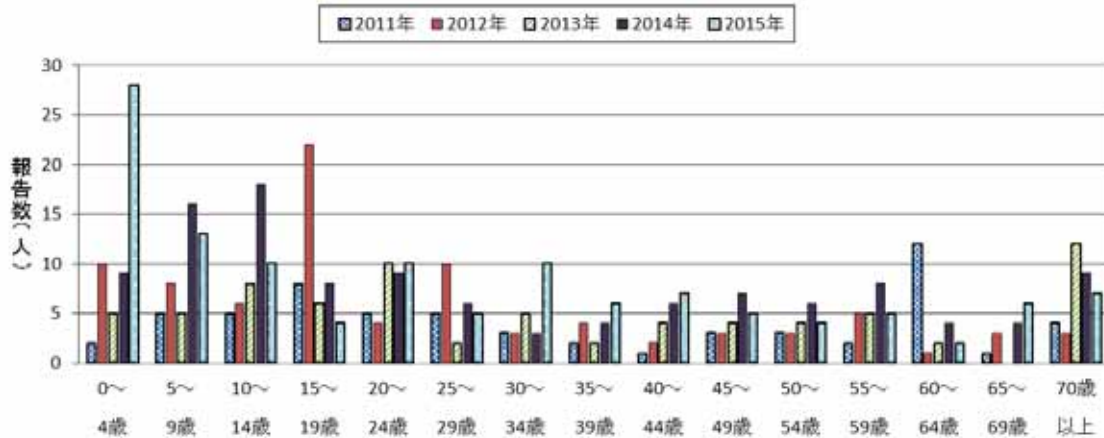
男女別報告割合(2015年)



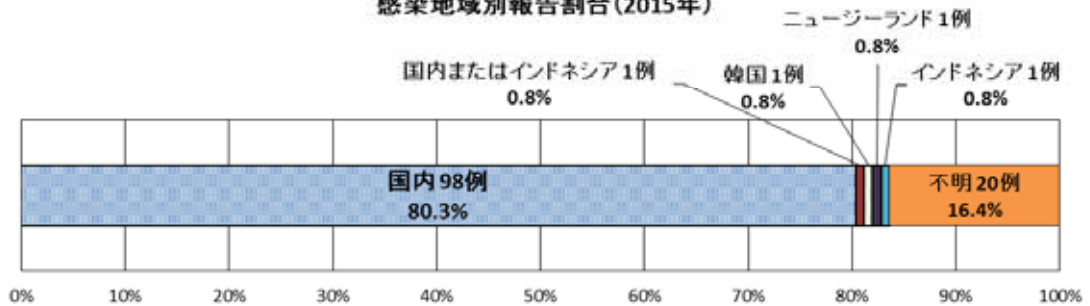
過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症月別報告数



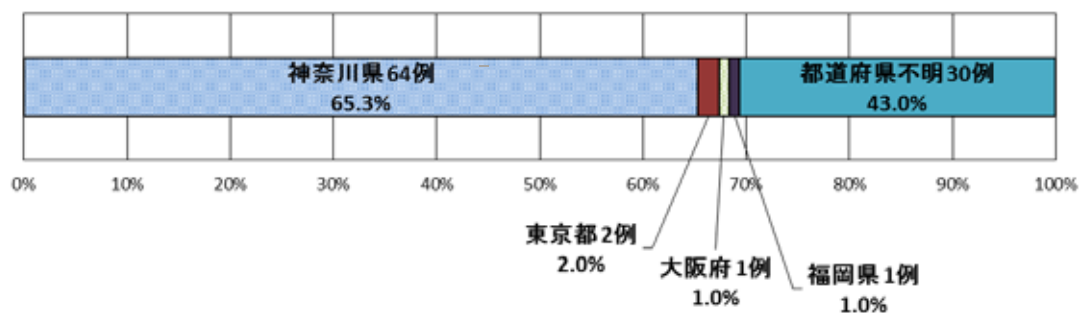
過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症年齢層別報告数



感染地域別報告割合(2015年)



感染地域別報告割合・国内(2015年)



4. 四類感染症

E型肝炎 (Hepatitis E)

男性5例の報告があり、年齢層別では50歳代が3例、40歳代が2例でした。推定感染地域は日本国内が3例、日本国内またはシンガポールが1例、不明が1例でした。また、2例は豚生レバーを食べたことが原因と推定されました。なお日本では、2012年7月に食品衛生法に基づいて牛生レバーの提供が禁止されたことに続き、2015年6月には豚生レバーの提供も禁止されています。

A型肝炎 (Hepatitis A)

8例の報告がありました。男女別では男性が5例、女性が3例で、年齢層別では50歳代が3例、30歳代が2例、20歳代・40歳代・60歳代が各1例でした。推定感染地域日本国内が7例、フィリピンが1例でした。

つつが虫病 (Tsutsugamushi disease)

40歳代男性の報告が1例ありました。推定感染地域はラオスでした。

デング熱 (Dengue fever)

20例の報告があり、病型はいずれもデング熱でした。男女別では男性が11例(55.0%)、女性が9例(45.0%)で、年齢層別では30歳代が8例(40.0%)、40歳代が6例(30.0%)、20歳代および50歳代が各2例(10.0%)、10歳未満および10歳代が各1例(5.0%)でした。推定感染地域はインドネシアが5例(25.0%)、インド・スリランカ・タイおよびフィリピンが各2例(10.0%)、シンガポール・バングラデシュ・ブラジル・ベトナム・ミャンマー・モルディブおよび東ティモールが各1例(5.0%)でした。

マラリア (Malaria)

20歳代男性の熱帯熱マラリアの報告が1例ありました。推定感染地域はガーナでした。

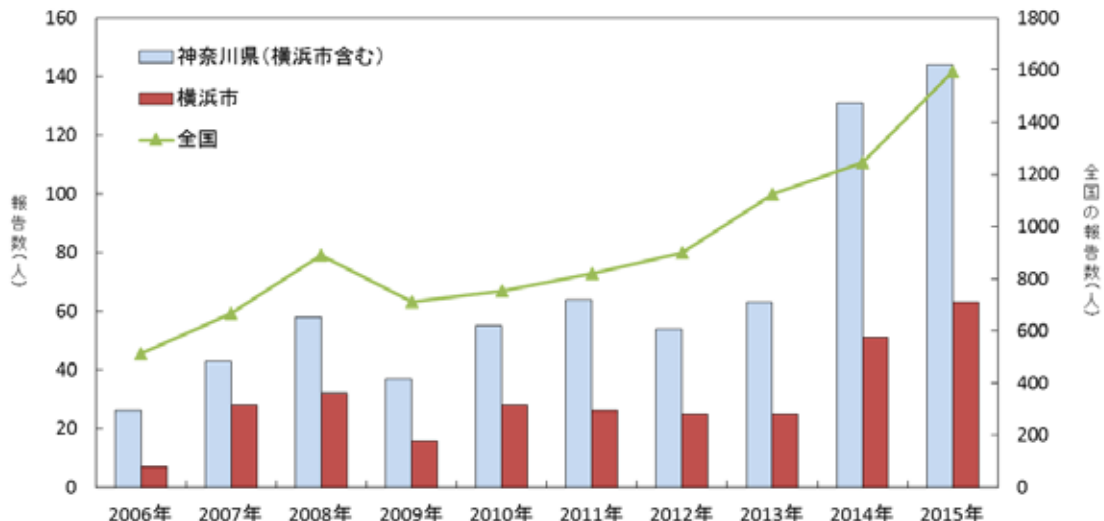
ライム病 (Lyme disease)

30歳代女性1例の報告がありました。推定感染地域はアメリカ合衆国でした。

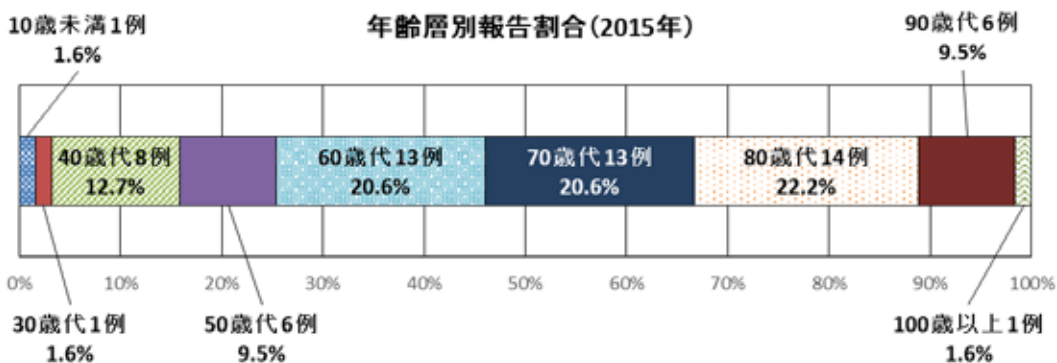
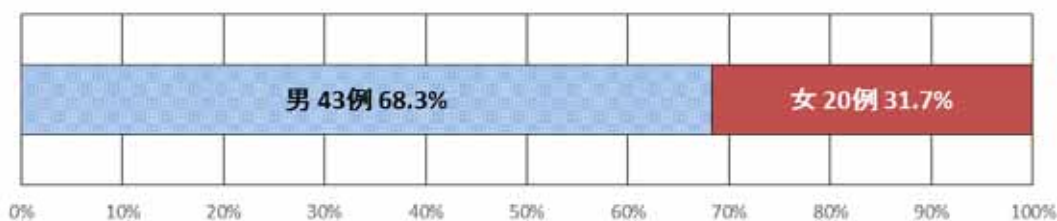
レジオネラ症 (Legionellosis)

63例の報告があり、病型は58例(92.1%)が肺炎型、4例(6.3%)がポンティアック熱型、1例(1.6%)が無症状病原体保有者でした。男女別では、男性が43例(68.3%)、女性が20例(31.7%)でした。年齢層別では80歳代が14例(22.2%)、60歳代および70歳代が各13例(20.6%)、40歳代が8例(12.7%)、50歳代および90歳代が各6例(9.5%)、10歳未満・30歳代・100歳以上が各1例(1.6%)でした。推定感染地域は日本国内が46例(73.0%)、タイが2例(3.2%)、インドネシア・台湾・ベトナムが各1例(1.6%)、不明が13例(20.6%)でした(推定感染地域は重複あり)。

レジオネラ症報告数の年別推移



男女別報告割合(2015年)



5. 五類感染症(全数把握対象)

アメーバ赤痢 (Amoebiasis)

51例の報告があり、病型は腸管アメーバ症が45例(88.2%)、腸管外アメーバ症が4例(7.8%)、腸管および腸管外アメーバ症が2例(3.9%)でした。男女別では、男性が45例(88.2%)、女性が6例(11.8%)、年齢層別では40歳代が16例(31.4%)、50歳代が13例(25.5%)、60歳代が10例(19.6%)、30歳代が8例(15.7%)、20歳代および70歳代が各2例(3.9%)でした。推定感染地域は日本国内が39例(76.5%)、中国が3例(5.9%)、タイが2例(3.9%)、香港が1例(2.0%)、東南アジア(詳細不明)が1例(2.0%)および不明が6例(11.8%)でした(推定感染地域は重複あり)。

ウイルス性肝炎 (Viral hepatitis)

5例の報告があり、男女別では男性2例、女性3例でした。病型はB型が3例、C型とその他(サイトメガロウイルス)が各1例で、推定感染地域は日本国内が4例、中国が1例でした。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (Carbapenem-resistant Enterobacteriaceae Infection)

45例の報告があり、男女別では男性33例(73.3%)、女性12例(26.7%)でした。年齢層別では80歳代が16例(35.6%)、60歳代が10例(22.2%)、70歳代が8例(17.8%)、50歳代が4例(8.9%)、90歳代が3例(6.7%)、10歳未満が2例(4.4%)、30歳代および40歳代が各1例(2.2%)でした。推定感染地域は日本国内が42例(93.3%)、不明が3例(6.7%)でした。

急性脳炎 (Acute encephalitis)

19例の報告があり、男女別では男性10例、女性9例でした。年齢層別では、10歳未満が18例、70歳代が1例でした。病原体は、インフルエンザウイルスAが5例、RSウイルスおよびアデノウイルスが各1例、病原体不明が12例でした。

クリプトスポリジウム症 (Cryptosporidiosis)

40歳代男性の報告が1例ありました。推定感染地域はフィリピンでした。

クロイツフェルトヤコブ病 (Creutzfeldt-Jakob Disease: CJD)

女性3例の報告があり、年齢層別では70歳代・80歳代・90歳代が各1例でした。

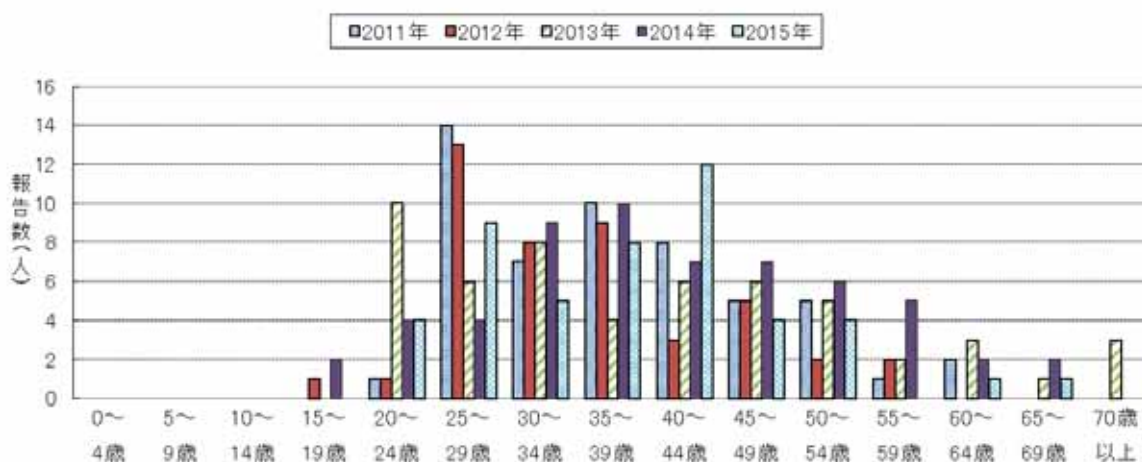
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (Sever invasive Streptococcal infection)

15例の報告があり、男女別では男性6例、女性9例でした。年齢層別では、60歳代が4例、70歳代が3例、10歳未満・40歳代・80歳代が各2例、50歳代および90歳代が各1例でした。

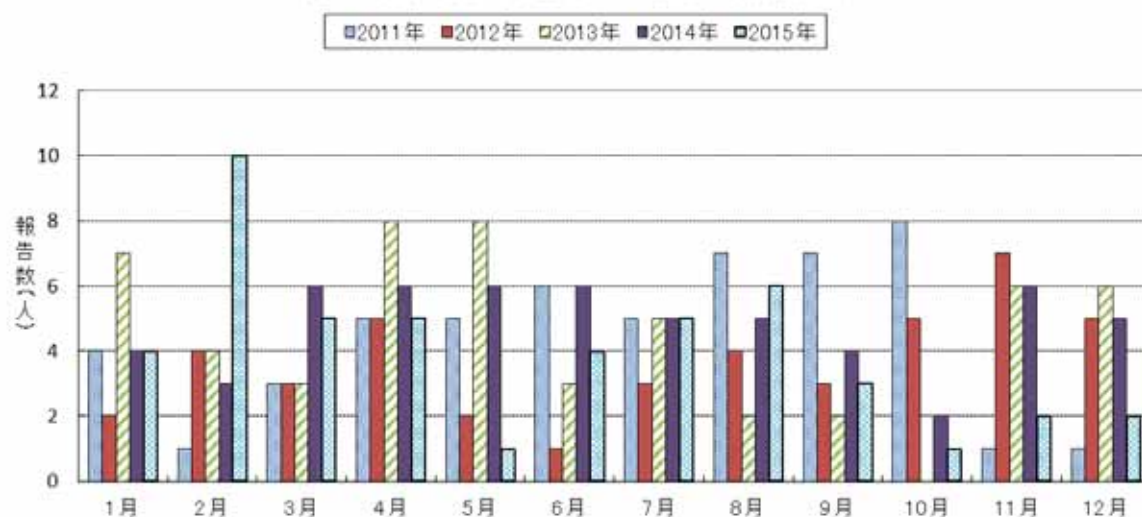
後天性免疫不全症候群 (Acquired Immunodeficiency Syndrome: AIDS)

48例の報告があり、男女別では男性46例(95.8%)、女性2例(4.2%)でした。病型は無症候性キャリアが21例(43.8%)、AIDSが19例(39.6%)、その他が8例(16.7%)でした。国籍は日本が42例(87.5%)、その他が6例(12.5%)でした。年齢層別では40歳代が16例(33.3%)、20歳代および30歳代が各13例(27.1%)、50歳代が4例(8.3%)、60歳代が2例(4.2%)でした。推定感染地域は日本国内が37例(77.1%)、その他が6例(12.5%)、不明が5例(10.4%)でした。

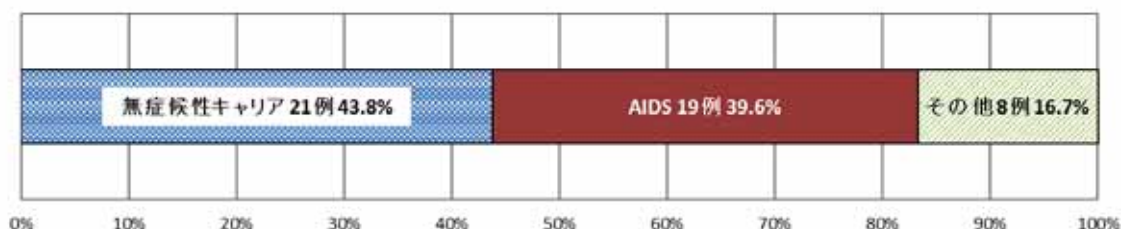
過去5年間の後天性免疫不全症候群 年齢層別報告数



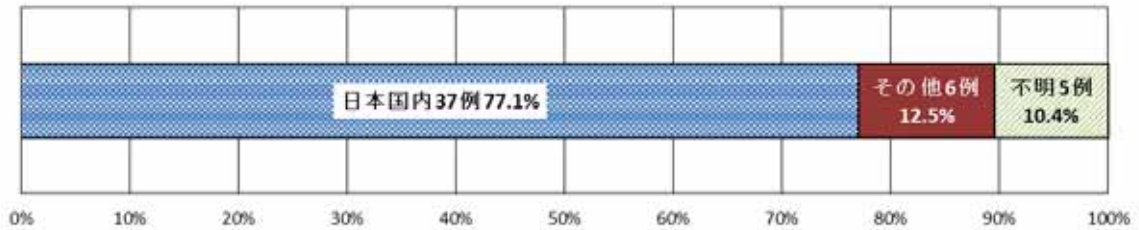
過去5年間の後天性免疫不全症候群 月別報告数



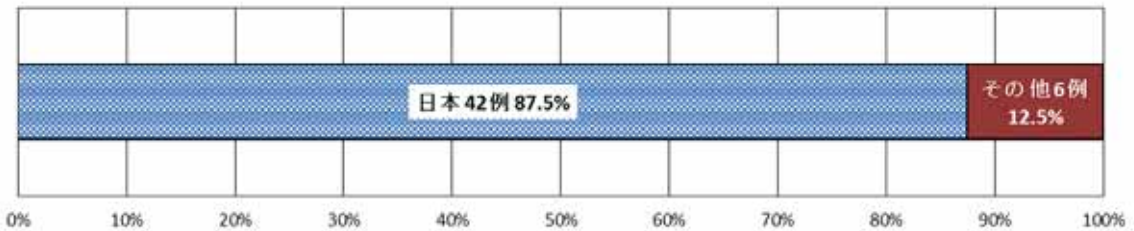
病型別報告割合(2015年)



感染地域別報告割合(2015年)



国籍別報告割合(2015年)



ジアルジア症 (Giardia disease)

男性の報告が4例ありました。年齢層別では、50歳代が2例、10歳未満および40歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が3例、カンボジアが1例でした。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 (Invasive Haemophilus Influenzae Infection)

8例の報告があり、男性が5例、女性が3例でした。年齢層別では、60歳代・70歳代・80歳代が各2例、20歳代および90歳代が各1例で、推定感染地域は全例日本国内でした。ワクチン接種歴は無・不明各4例でした。

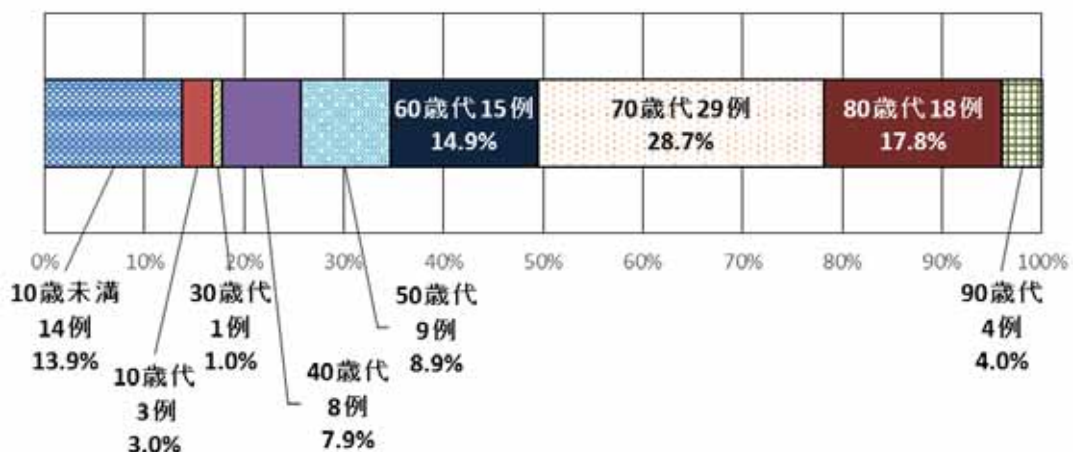
侵襲性髄膜炎菌感染症 (Invasive Meningococcal Infection)

50歳代女性の報告が1例ありました。推定感染地域は不明でした。

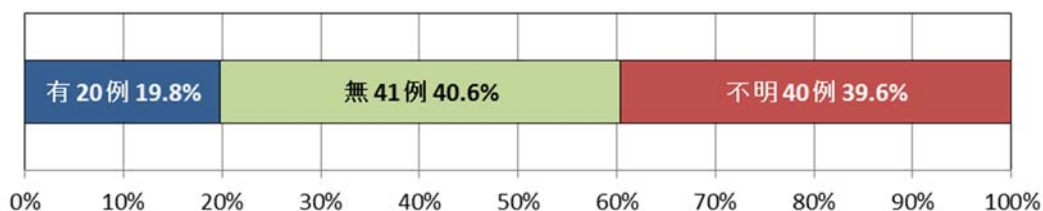
侵襲性肺炎球菌感染症 (Invasive Pneumococcal Infection)

101例の報告があり、男性が68例(67.3%)、女性が33例(32.7%)でした。年齢層別では70歳代が29例(28.7%)と最も多く、次いで80歳代が18例(17.8%)、60歳代が15例(14.9%)となっています。推定感染地域は日本国内94例(93.1%)、不明7例(6.9%)でした。ワクチン接種歴は有20例(19.8%)、無41例(40.6%)、不明40例(39.6%)でした。

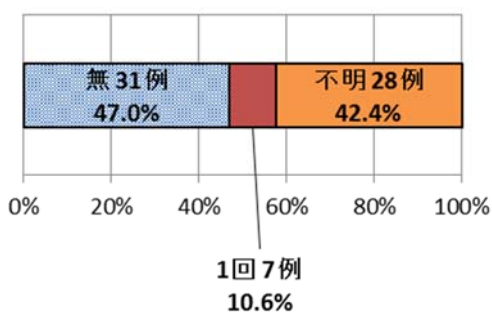
年齢層別報告割合(2015年)



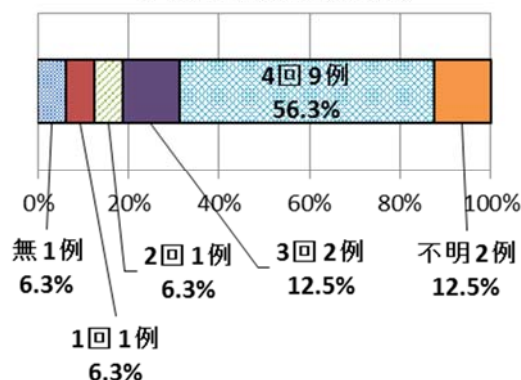
侵襲性肺炎球菌感染症101例のワクチン接種の有無



ワクチン接種回数内訳(60歳以上)



小児(12歳以下)のワクチン接種回数内訳



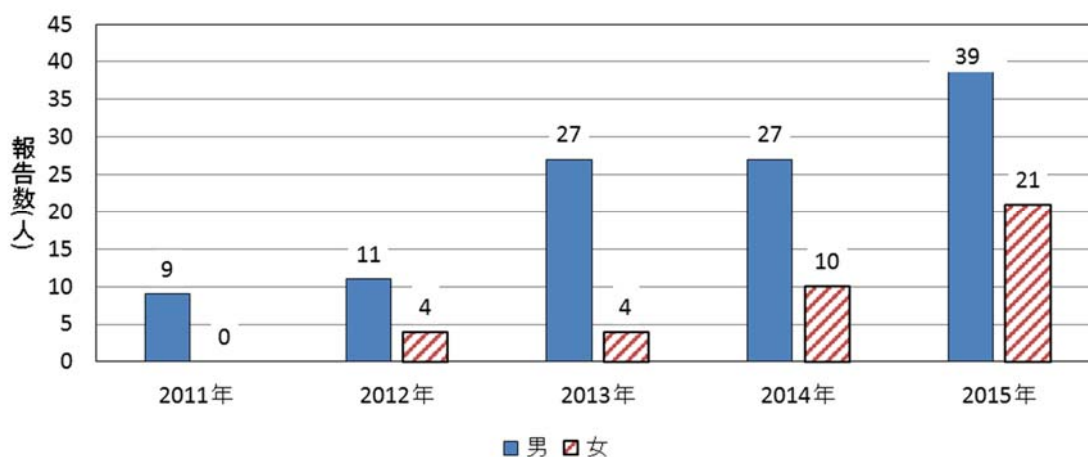
水痘(入院例に限る) (Varicella < Chickenpox >)

11例の報告があり、男性が8例、女性が3例でした。年齢層別では、30歳代が3例、10歳未満・50歳代が各2例、10歳代・40歳代・80歳代および90歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内10例、中東(詳細不明)1例でした。ワクチンについては、小児の3例はいずれも接種が確認できましたが、成人8例は全例確認できませんでした。

梅毒 (Syphilis)

60例の報告があり、病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が23例(38.3%)、早期顕症梅毒Ⅱ期が18例(30.0%)、無症状病原体保有者が16例(26.7%)、晚期顕症梅毒が2例(3.3%)、先天梅毒が1例(1.7%)でした。男女別では男性が39例(65.0%)、女性が21例(35.0%)でした。年齢層別では40歳代が20例(33.3%)、20歳代が15例(25.0%)、30歳代が14例(23.3%)、10歳代が5例(8.3%)、50歳代が3例(5.0%)、10歳未満・60歳代・80歳代が各1例(1.7%)でした。推定感染地域は日本国内が55例(91.7%)、不明が5例(8.3%)でした。近年、梅毒は増加傾向で、2015年の報告数は前年の約2倍となっています。

過去5年間の梅毒報告数



播種性クリプトコックス症 (Disseminated Cryptococcosis)

男性2例、女性1例の報告がありました。年齢層別では40歳代・80歳代および90歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が2例、不明1例でした。

破傷風 (Tetanus)

男性2例の報告がありました。年齢層別では70歳代および80歳代が各1例で、推定感染地域はいずれも日本国内でした。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (Vancomycin-Resistant Enterococcal Infection :VRE)

男性3例の報告がありました。年齢層別では60歳代・80歳代および90歳代が各1例で、推定感染地域は日本国内が2例、不明1例でした。

風しん (Rubella)

6例の報告があり、男女各3例でした。年齢層別では、10歳未満と40歳代が各2例、20歳代および30歳代が各1例でした。

麻疹 (Measles)

30歳代男性1例の報告がありました。推定感染地域はインドネシアでした。

年別患者報告数(全数把握対象の感染症)

分類	疾病名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	663	611	554	578	565
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群(MERS)(※6)	/	/	/	/	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ(H7N9)(※6)	/	/	/	/	-	
三類	コレラ	2	2	-	-	1
	細菌性赤痢	12	6	7	3	6
	腸管出血性大腸菌感染症	61	87	74	117	122
	腸チフス	-	3	5	1	1
	パラチフス	2	1	2	-	8
四類	E型肝炎	-	1	4	2	5
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	6	8	4	8	8
	エキノコックス症	-	-	-	1	-
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	1	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)(※1)	/	/	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	2	1	-	-	-
	つつが虫病	2	-	2	-	1
	デング熱	3	11	11	20	20
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1およびH7N9を除く)	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	1	-	-
ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	
発しんチフス	-	-	-	-	-	
ボツリヌス症	-	-	-	-	-	
マラリア	7	7	1	4	1	
野兔病	-	-	-	-	-	

分類	疾病名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
四類	ライム病	-	-	-	-	1
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	26	25	25	51	63
	レプトスピラ症	-	3	2	2	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-
五類 (全数把握)	アメーバ赤痢	53	40	42	66	51
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	3	1	2	2	5
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(※4)	/	/	/	13	45
	急性脳炎	7	8	5	21	19
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	3	6	7	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2	3	14	15
	後天性免疫不全症候群	53	44	54	58	48
	ジアルジア症	2	3	2	1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症(※2)	/	/	4	9	8
	侵襲性髄膜炎菌感染症(※3)	-	1	-	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症(※2)	/	/	39	79	101
	水痘(入院例に限る)(※5)	/	/	/	3	11
	先天性風しん症候群	-	-	2	-	-
	梅毒	9	15	31	37	60
	播種性クリプトコックス症(※4)	/	/	/	-	3
	破傷風	1	4	3	2	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	12	4	2	-	3
	風しん	15	113	624	37	6
麻しん	12	4	2	11	1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症(※5)	/	/	/	1	-	

(- : 0件)

- (※1) 2013年3月4日より追加
- (※2) 2013年4月1日より追加
- (※3) 2013年4月1日、髄膜炎菌性髄膜炎より変更
- (※4) 2014年9月19日より追加
- (※5) 2014年9月19日、5類定点疾患より変更
- (※6) 2015年1月21日より追加

2015年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男女)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計	
二類	結核	44	36	17	64	36	34	32	43	26	27	44	18	33	19	44	13	18	17	565	
三類	コレラ															1				1	
	細菌性赤痢			1		1	3				1									6	
	腸管出血性大腸菌感染症	3	3	2	4	1	10	8	10	2		9	2	7	11	40	5	3	2	122	
	腸チフス										1									1	
四類	パラチフス							6						2						8	
	E型肝炎				1			1	1					1		1				5	
	A型肝炎			2			1					1		2	1	1				8	
	つつが虫病														1					1	
	デング熱					1		19												20	
	マラリア							1												1	
	ライム病										1									1	
レジオネラ症	6			3	2	1	4	13	1	7	5	1	3	5	12					63	
五類	アメーバ赤痢	1	2	20	4	1	3	1	4		4	3	1		3	3			1	51	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)			1					2			1				1				5	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1	6	7	5			7	1	5	2		5	1	3					45
	急性脳炎	2				15	1					1									19
	クリプトスポリジウム症							1													1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1											1					3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			2	6	2	2	2						1							15
	後天性免疫不全症候群		5	2	9	1		26				1				4					48
	ジアルジア症					1	1					1		1							4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2				2	2	1				1									8
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1																			1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	9	10	5	1	7	14		8	12	3	10	6	7			4		101
	水痘(入院例に限る)			1	1	1		1		1		1	1	1		3					11
	梅毒	9	2	5	11	2	3	12	3	1	1	2		4	2	1			1	1	60
	播種性クリプトコックス症	1						2													3
	破傷風											1					1				2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症													1			1		1		3
風しん						1	1	1							1	1		1		6	
麻疹								1												1	
計		76	50	68	121	75	61	129	97	33	55	85	27	70	50	124	19	27	22	1,189	

2015年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計	
二類	結核	27	26	11	46	28	23	16	27	15	14	27	12	19	11	30	8	10	12	362	
三類	コレラ															1				1	
	細菌性赤痢			1		1	2					1								5	
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1		2	1	6	3	3	1		1	1	2	9	16	2	2	2	53	
	腸チフス										1									1	
四類	パラチフス							5						1						6	
	E型肝炎				1			1	1					1		1				5	
	A型肝炎						1					1		2		1				5	
	つつが虫病														1					1	
	デング熱					1		10												11	
	マラリア							1												1	
	ライム病																			0	
レジオネラ症	3			2	2	1	3	5	1	5	5	1	3	5	7					43	
五類	アメーバ赤痢	1	2	16	3	1	3	1	4		4	2	1		3	3			1	45	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)			1					1											2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		3	7	3			6	1	4	1		3	1	2				33	
	急性脳炎	1				7	1					1									10
	クリプトスポリジウム症							1												1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病																			0	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				3	1	1	1												6	
	後天性免疫不全症候群		5	2	9	1		25				1				3				46	
	ジアルジア症					1	1					1		1							4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1				1	2					1									5
	侵襲性髄膜炎菌感染症																				0
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1	7	8	4	1	4	9		5	8	1	6	3	6			3	68	
	水痘(入院例に限る)					1		1	1		1	1	1	1		3					8
	梅毒	6		4	8		2	11	1		1	1		4					1		39
	播種性クリプトコックス症	1						1													2
	破傷風											1					1				2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症													1			1		1		3
風しん							1	1									1			3	
麻疹							1													1	
計		45	35	45	89	52	43	88	57	20	35	52	18	42	33	75	11	17	15	772	

2015年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(女)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計	
二類	結核	17	10	6	18	8	11	16	16	11	13	17	6	14	8	14	5	8	5	203	
三類	コレラ																			0	
	細菌性赤痢							1												1	
	腸管出血性大腸菌感染症	2	2	2	2		4	5	7	1		8	1	5	2	24	3	1		69	
	腸チフス																			0	
四類	パラチフス							1						1						2	
	E型肝炎																			0	
	A型肝炎			2											1					3	
	つつが虫病																			0	
	デング熱							9												9	
	マラリア																			0	
	ライム病										1									1	
レジオネラ症	3			1			1	8		2						5			20		
五類	アメーバ赤痢			4	1							1								6	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)								1			1				1				3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1	3		2			1		1	1		2		1				12	
	急性脳炎	1				8														9	
	クリプトスポリジウム症																			0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1										1					3	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			2	3	1	1	1						1						9	
	後天性免疫不全症候群							1									1			2	
	ジアルジア症																			0	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1				1		1												3	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1																		1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		2	2	1		3	5		3	4	2	4	3	1		1		33	
	水痘(入院例に限る)			1	1									1						3	
	梅毒	3	2	1	3	2	1	1	2	1		1			2	1			1	21	
	播種性クリプトコックス症							1												1	
	破傷風																				0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																				0
風しん						1										1			1	3	
麻疹																				0	
	計	31	15	23	32	23	18	41	40	13	20	33	9	28	17	49	8	10	7	417	

2015年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男女)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	48	43	35	45	41	43	62	50	37	57	46	58	565
三類	コレラ			1										1
	細菌性赤痢				1				1	1	3			6
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	2	1	4	12	24	13	48	7	9		122
	腸チフス		1											1
	パラチフス		2	1			4					1		8
四類	E型肝炎			2						1	2			5
	A型肝炎	2				1	1			1	2		1	8
	つつが虫病	1												1
	デング熱	3	1		3		1	3	3	1	3		2	20
	マラリア					1								1
	ライム病											1		1
	レジオネラ症	10	1	4	6	2	7	5		13	6	4	5	63
五類	アメーバ赤痢	2	4	8	4	3	6	3	6	5	2	5	3	51
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		1	1				2		1				5
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	3	1	1	3	2	9	8	5	4	2	4	45
	急性脳炎	6		1	1			1		5	1	3	1	19
	クリプトスポリジウム症	1												1
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1		1				1			3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	1	1		2	1	3	1	1	1	15
	後天性免疫不全症候群	4	10	5	5	1	4	5	6	3	1	2	2	48
	ジアルジア症		1						2		1			4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症				1		1		3	1	1		1	8
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1												1
	侵襲性肺炎球菌感染症	17	6	8	13	14	7	5	4	2	5	11	9	101
	水痘(入院例に限る)	3			1	1	3		1			2		11
	梅毒	4	4	3	5	5	4	7	4	6	6	8	4	60
	播種性クリプトコックス症			1							1			1
	破傷風									1				1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2								1			3
	風しん	1			1		1	1	1	1				6
麻しん		1											1	
計		108	82	75	90	77	97	129	104	137	103	94	93	1,189

2015年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	35	34	22	27	24	25	41	32	23	34	26	39	362
三類	コレラ			1										1
	細菌性赤痢				1					1	3			5
	腸管出血性大腸菌感染症			1	1	1	2	13	4	20	6	5		53
	腸チフス		1											1
	パラチフス		2	1			2					1		6
四類	E型肝炎			2						1	2			5
	A型肝炎	2					1				2			5
	つつが虫病	1												1
	デング熱	1	1		1		1	1	2				2	11
	マラリア					1								1
	ライム病													0
	レジオネラ症	6		2	2	2	5	4		11	4	3	4	43
五類	アメーバ赤痢	1	3	8	3	3	5	3	5	4	2	5	3	45
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)			1						1				2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1	1		3	1	6	7	4	2	2	4	33
	急性脳炎	5		1	1					1		1	1	10
	クリプトスポリジウム症	1												1
	クロイツフェルト・ヤコブ病													0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1			1		2		1		6
	後天性免疫不全症候群	4	10	5	4	1	4	5	6	3	1	1	2	46
	ジアルジア症		1						2		1			4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症				1		1			1	1		1	5
	侵襲性髄膜炎菌感染症													0
	侵襲性肺炎球菌感染症	14	4	6	7	6	6	3	3	2	3	8	6	68
	水痘(入院例に限る)	3			1	1	1					2		8
	梅毒	3	4	1	3	4	3	5	1	2	4	6	3	39
	播種性クリプトコックス症			1						1				2
	破傷風									1				1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2								1			3
	風しん	1						1	1					3
麻しん		1											1	
計		80	64	53	53	46	58	82	64	78	67	61	66	772

2015年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(女)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	13	9	13	18	17	18	21	18	14	23	20	19	203
三類	コレラ													0
	細菌性赤痢								1					1
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1		3	10	11	9	28	1	4		69
	腸チフス													0
	バラチフス						2							2
四類	E型肝炎													0
	A型肝炎					1				1			1	3
	つつが虫病													0
	デング熱	2			2			2	1	1	1			9
	マラリア													0
	ライム病											1		1
	レジオネラ症	4	1	2	4		2	1		2	2	1	1	20
五類	アメーバ赤痢	1	1		1		1		1	1				6
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		1					2						3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2		1		1	3	1	1	2			12
	急性脳炎	1						1		4	1	2		9
	クリプトスポリジウム症													0
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1		1			1				3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	2		1		1	1	1	1	1	1	9
	後天性免疫不全症候群				1								1	2
	ジアルジア症													0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3				3
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1												1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	2	2	6	8	1	2	1		2	3	3	33
	水痘(入院例に限る)							2		1				3
	梅毒	1		2	2	1	1	2	3	4	2	2	1	21
	播種性クリプトコックス症												1	1
	破傷風													0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症													0
風しん				1				1		1				3
麻しん														0
	計	28	18	22	37	31	39	47	40	59	36	33	27	417

2015年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(男女)

		0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計	
二類	結核	2	2	0	12	20	21	23	21	19	33	28	27	39	55	47	55	161	565	
	コレラ													1					1	
	細菌性赤痢					2	2	1				1							6	
	腸管出血性大腸菌感染症	28	13	10	4	10	5	10	6	7	5	4	5	2	6	4	2	1	122	
	腸チフス						1												1	
四類	パラチフス	1		1		1		2	1	1		1							8	
	E型肝炎								2			1	2						5	
	A型肝炎					1		2			1	2	1	1					8	
	つつが虫病										1								1	
	デング熱		1		1	2		1	7	1	5		2						20	
	マラリア					1													1	
	ライム病							1											1	
	レジオネラ症	1							1	2	6	3	3	8	5	9	4	21	63	
五類	アメーバ赤痢					1	1	2	6	11	5	7	6	7	3	2			51	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)						1		1	1	1					1			5	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						1		1		2	2	4	6	5	3	19	45	
	急性脳炎	15	3															1	19	
	クリプトスポリジウム症										1								1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病																	1	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2								2		1			4	3			15	
	後天性免疫不全症候群					4	9	5	8	12	4	4		1	1				48	
	ジアルジア症		1							1		2								4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1							2		2	3	8	
	侵襲性髄膜炎菌感染症													1						1
	侵襲性肺炎球菌感染症	14		2	1				1	2	6	5	4	8	7	13	16	22	101	
	水痘(入院例に限る)	1	1	1					1	2		1	1	1					2	11
	梅毒	1			5	8	7	8	6	13	7	1	2	1					1	60
	播種性クリプトコックス症											1								2
	破傷風																	1		2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症														1					2
風しん	2				1				1	2									6	
麻疹								1											1	
計		69	21	14	23	51	48	58	61	77	77	63	56	73	89	84	85	240	1,189	

2015年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(男)

		0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計	
二類	結核	1	2	0	6	9	9	11	13	14	23	23	20	26	44	33	34	94	362	
	コレラ													1					1	
	細菌性赤痢					2	2					1							5	
	腸管出血性大腸菌感染症	16	10	9	2	4	2	4	1	1	1		1		1	1			53	
	腸チフス						1												1	
四類	パラチフス			1		1		2		1		1							6	
	E型肝炎								2			1	2						5	
	A型肝炎								2				1	1	1				5	
	つつが虫病										1								1	
	デング熱		1					1	4	1	3		1						11	
	マラリア					1													1	
	ライム病																		0	
	レジオネラ症								1		3	3	3	6	5	8	3	11	43	
五類	アメーバ赤痢						1		6	10	4	7	5	7	3	2			45	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)						1				1								2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2										2	1	4	5	5	3	11	33	
	急性脳炎	6	3															1	10	
	クリプトスポリジウム症										1								1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病																		0	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2								1		1			1	1			6	
	後天性免疫不全症候群					4	9	5	8	12	4	3			1				46	
	ジアルジア症		1							1		2								4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症														2		2	1	5	
	侵襲性髄膜炎菌感染症																			0
	侵襲性肺炎球菌感染症	9		2	1				1		4	3	4	4	4	9	12	15	68	
	水痘(入院例に限る)	1	1	1					1			1	1						2	8
	梅毒				2	4	6	6	11	6	11	6	1	2	1					39
	播種性クリプトコックス症											1								2
	破傷風																	1		2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症														1					2
風しん								1	2										3	
麻疹								1											1	
計		37	18	13	9	23	29	32	42	56	52	50	41	51	66	59	56	138	772	

2015年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(女)

		0~4 歳	5~9 歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 24歳	25~ 29歳	30~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60~ 64歳	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80歳 以上	計	
二類	結核	1	0	0	6	11	12	12	8	5	10	5	7	13	11	14	21	67	203	
	コレラ																		0	
	細菌性赤痢							1											1	
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	1	2	6	3	6	5	6	4	4	4	2	5	3	2	1	69	
	腸チフス																		0	
	バラチフス	1							1										2	
四類	E型肝炎																		0	
	A型肝炎					1					1	1							3	
	つつが虫病																		0	
	デング熱				1	2			3		2		1						9	
	マラリア																		0	
	ライム病							1											1	
	レジオネラ症	1								2	3				2		1	1	10	
五類	アメーバ赤痢					1		2		1	1		1						6	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)								1	1						1			3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		1				1		1		8	12	
	急性脳炎	9																	9	
	クリプトスポリジウム症																		0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病																1	2	3	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1					3	2		3	9	
	後天性免疫不全症候群												1		1				2	
	ジアルジア症																		0	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						1											2	3	
	侵襲性髄膜炎菌感染症													1					1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	5									2	2	2		4	3	4	4	7	33
	水痘(入院例に限る)								1	1		1								3
	梅毒	1			5	6	3	2		2	1								1	21
	播種性クリプトコックス症																		1	1
	破傷風																			0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症																			0	
風しん	2				1														3	
麻疹																			0	
	計	32	3	1	14	28	19	26	19	21	25	13	15	22	23	25	29	102	417	